

1 単元 アイヌ語に親しもう （1年間のまとめ）

2 単元目標 体験活動を通して、地域の良さを知るとともに、地域の人々とのかかわりから、望ましい人間関係を作る力を育てる。

3 目指す子どもの姿

- ① 日常生活や社会に向け、体験などをもとに自分で課題を設定することができる子
- ② 意欲をもって課題を追求し続け、自分の意見を深め、よりよく表現できる子
- ③ 他者のよさを発見したり、自分の成長を自覚し、自分の生き方を考えたりできる子

4 本時の目標

3・4年生 主体的に体験活動に参加し、アイヌ語を学ぶことができる。

5・6年生 主体的な学びを通して、コミュニケーションを図ることができる。

5 本時の展開

	児童の活動	講師○・教師●の活動	留意点・評価
つかむ	○あいさつ 5・6年生 ○アイヌ語の歌を歌う。 ○今日の活動を知る	○アイヌ語の歌 「二風谷小校歌（アイヌ語バージョン）」 ●「一年間の学習をふりかえる」	・あいさつカード ・電子黒板（2年教室）、 レーザーポインター
考える	○講師の方のお話を聞く。 ① あいさつ・じゃんけん 10までの数 ② 模様 ③ 校歌に出てくる言葉 ④ 衣服 ⑤ 色 ⑥ 天気 ⑦ 寒暖	○今までの学習のふりかえり ・①～⑦の言葉を思い出す 全員で声を出す	・学習した言葉の一覧表 （電子黒板） 【評価】 活動を通して、アイヌ語 に興味・関心をもつこと ができる。
深める	○学習した言葉を使って遊ぶ。	●ビンゴゲーム（時間内で何列できるか続ける） ＊各自ビンゴカードを持って回る。 ＊じゃんけんをし、勝った人がカードの中から 自分の好きな言葉を使う。 ＊言われた言葉があれば○をする。	
まとめる 広げる	○学習の振り返り、感想を交流 ○あいさつ 縦割り班班長	●1年間の学習のふりかえり（カードの記入） ●発表交流（班ごと）	【観点】 ・アイヌ文化に対する興味・ 関心 ・自己の変容、良さ ・次年度への探求的な視点

6 自己評価

- ①アイヌ語のスキルを高めるのではなく、アイヌ語に興味・関心をもつ
- ②アイヌ語を学習することで、アイヌ文化に対しての自身の考えを深める。

7 役割分担

講師：関根健司さん メインT： サブT： 記録：